

平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年3月9日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL http://www.morphoinc.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 福永 寛康 TEL 03(3288)3288
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第1四半期の連結業績（平成29年11月1日～平成30年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|--------------|-----|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年10月期第1四半期 | 526 | 4.6 | 100 | △45.7 | 86 | △60.8 | 45 | △70.4 |
| 29年10月期第1四半期 | 503 | △11.3 | 185 | △32.6 | 220 | △20.3 | 155 | △25.5 |

(注) 包括利益 30年10月期第1四半期 42百万円 (△73.5%) 29年10月期第1四半期 162百万円 (△21.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年10月期第1四半期 | 8.61 | 8.56 |
| 29年10月期第1四半期 | 29.73 | 29.34 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年10月期第1四半期 | 5,287 | 5,032 | 95.2 | 935.17 |
| 29年10月期 | 4,814 | 4,485 | 93.2 | 850.74 |

(参考) 自己資本 30年10月期第1四半期 5,032百万円 29年10月期 4,485百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年10月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年10月期 | — | — | — | — | — |
| 30年10月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年10月期の連結業績予想（平成29年11月1日～平成30年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,650 | 12.4 | 900 | 11.2 | 900 | 7.3 | 620 | △1.6 | 115.46 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年10月期1Q | 5,382,800株 | 29年10月期 | 5,273,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年10月期1Q | 1,700株 | 29年10月期 | 1,700株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年10月期1Q | 5,337,143株 | 29年10月期1Q | 5,221,200株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に設備投資の増加を受け回復傾向が続きました。世界経済は、足元では米国での金利上昇をきっかけとした金融市場の動揺が見られるものの、米国を中心に全体として回復が続いております。

当社グループの主要な事業領域であるスマートフォン市場は、成長の鈍化がみられるものの、引き続き中国メーカーが販売台数を伸ばしました。また、新たな事業領域と位置付けている人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、金融、製造、情報通信から社会インフラへと活発に広がりを見せており、今後更なる成長が見込まれます。

このような状況の中、当社グループは技術優位性の高い製品開発や将来を見据えた基礎技術研究を進めるとともに、優秀な人材の採用や新規事業立ち上げのための市場調査活動等、将来の成長を見据えた投資を行ってまいりました。製品開発においては、音声認識やテキスト解析等画像認識に限らないディープラーニングを用いた様々な推論エンジン開発者向けの高速ディープラーニング推論エンジン『SoftNeuro™』を製品化いたしました。カメラデバイス事業においては、スマートフォン市場での更なるシェア拡大を目指し、営業活動強化や新興スマートフォンメーカーとの連携強化に努めました。ネットワークサービス事業においては、既存顧客との取組みに加え、新しい市場開拓のための他社との連携強化に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は526,482千円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益は100,528千円(前年同四半期比45.7%減)、経常利益は86,506千円(前年同四半期比60.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45,957千円(前年同四半期比70.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは「カメラデバイス事業」「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとして、セグメント情報を記載しております。

①カメラデバイス事業

「カメラデバイス事業」は、スマートフォンを中心として車載、監視カメラ、業務・産業機器等への組込み向け製品のライセンス、開発及びサポート等を行っております。

当事業においては、韓国顧客からのロイヤリティ収入が減少したものの、中国主要顧客からのロイヤリティ収入及び車載向け開発収入が堅調に推移したため、売上高は、前年同四半期比0.4%増の448,182千円となりました。営業利益は、研究開発費や販売手数料等の増加により、前年同期比29.6%減の224,413千円となりました。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|-------------|--|--|----------------|
| 売上高(千円) | 446,241 | 448,182 | 0.4% |
| セグメント利益(千円) | 318,846 | 224,413 | △29.6% |

②ネットワークサービス事業

「ネットワークサービス事業」は、ディープラーニングを中心とした画像認識技術や画像処理技術を用いたシステムのクラウドサービス事業者や映像配信業者等へのライセンス、開発及びサポート等を行っております。

当事業においては、開発案件が堅調に推移したため、売上高は、前年同四半期比36.8%増の78,300千円となりました。営業利益は、売上増加等により、前年同期比80.0%増の22,729千円となりました。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|-------------|--|--|----------------|
| 売上高(千円) | 57,251 | 78,300 | 36.8% |
| セグメント利益(千円) | 12,625 | 22,729 | 80.0% |

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,958,075千円となり前連結会計年度末に比べ491,664千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が513,995千円、仕掛品が2,953千円増加し、売掛金が23,004千円減少、貸倒引当金が7,970千円増加したことによるものであります。

固定資産は328,998千円となり、前連結会計年度末に比べ19,278千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が5,641千円、繰延税金資産が13,012千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、5,287,074千円となり、前連結会計年度末に比べ472,386千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は216,167千円となり前連結会計年度末に比べ70,924千円減少いたしました。これは主に前受金が5,894千円増加し、買掛金が3,230千円、未払金が10,091千円、未払法人税等が56,866千円、未払費用が4,246千円減少したことによるものであります。

固定負債は38,663千円となり、前連結会計年度末に比べ3,931千円減少いたしました。これは主に長期借入金が4,020千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、254,830千円となり、前連結会計年度末に比べ74,855千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,032,243千円となり前連結会計年度末に比べ547,241千円増加いたしました。これは主に資本金及び資本準備金がそれぞれ252,142千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が45,957千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年12月8日に「平成29年10月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年10月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,789,503 | 4,303,499 |
| 売掛金 | 559,807 | 536,803 |
| 仕掛品 | 1,311 | 4,265 |
| 前払費用 | 32,485 | 31,513 |
| 繰延税金資産 | 69,695 | 72,208 |
| その他 | 18,256 | 22,404 |
| 貸倒引当金 | △4,649 | △12,619 |
| 流動資産合計 | 4,466,411 | 4,958,075 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 40,446 | 38,970 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 72,555 | 68,389 |
| 有形固定資産合計 | 113,001 | 107,360 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 32,318 | 30,977 |
| その他 | 3,577 | 4,585 |
| 無形固定資産合計 | 35,895 | 35,563 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 22,469 | 22,469 |
| 敷金及び保証金 | 87,523 | 87,488 |
| 繰延税金資産 | 87,329 | 74,317 |
| その他 | 8,657 | 8,572 |
| 貸倒引当金 | △6,599 | △6,772 |
| 投資その他の資産合計 | 199,380 | 186,075 |
| 固定資産合計 | 348,277 | 328,998 |
| 資産合計 | 4,814,688 | 5,287,074 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年10月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 19,319 | 16,089 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 16,818 | 16,080 |
| 未払金 | 63,430 | 53,339 |
| 未払法人税等 | 66,320 | 9,454 |
| 未払費用 | 15,937 | 11,690 |
| 前受金 | 96,880 | 102,775 |
| その他 | 8,385 | 6,738 |
| 流動負債合計 | 287,091 | 216,167 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,980 | 4,960 |
| 資産除去債務 | 27,699 | 27,787 |
| その他 | 5,916 | 5,916 |
| 固定負債合計 | 42,595 | 38,663 |
| 負債合計 | 329,686 | 254,830 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,519,070 | 1,771,213 |
| 資本剰余金 | 1,467,740 | 1,719,883 |
| 利益剰余金 | 1,487,655 | 1,533,612 |
| 自己株式 | △10,711 | △10,711 |
| 株主資本合計 | 4,463,754 | 5,013,997 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 21,247 | 18,246 |
| その他の包括利益累計額合計 | 21,247 | 18,246 |
| 純資産合計 | 4,485,001 | 5,032,243 |
| 負債純資産合計 | 4,814,688 | 5,287,074 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 503,492 | 526,482 |
| 売上原価 | 70,095 | 90,605 |
| 売上総利益 | 433,397 | 435,876 |
| 販売費及び一般管理費 | 248,118 | 335,348 |
| 営業利益 | 185,278 | 100,528 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 20 |
| 為替差益 | 35,437 | - |
| その他 | 4 | - |
| 営業外収益合計 | 35,442 | 20 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 133 | 62 |
| 為替差損 | - | 13,979 |
| その他 | - | 0 |
| 営業外費用合計 | 133 | 14,042 |
| 経常利益 | 220,587 | 86,506 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 220,587 | 86,506 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 49,313 | 30,050 |
| 法人税等調整額 | 16,043 | 10,499 |
| 法人税等合計 | 65,357 | 40,549 |
| 四半期純利益 | 155,230 | 45,957 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 155,230 | 45,957 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 155,230 | 45,957 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 6,774 | △3,000 |
| その他の包括利益合計 | 6,774 | △3,000 |
| 四半期包括利益 | 162,005 | 42,956 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 162,005 | 42,956 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月7日付で、みらかホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ249,832千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使による新株式発行により8,400株増加し、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,310千円増加しております。

それらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,771,213千円、資本準備金が1,719,883千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------------|------------------|---------|--------------|----------------------------|
| | カメラデバイス 事業 | ネットワーク サービス事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 446,241 | 57,251 | 503,492 | — | 503,492 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 446,241 | 57,251 | 503,492 | — | 503,492 |
| セグメント利益 | 318,846 | 12,625 | 331,471 | △146,193 | 185,278 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,193千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,193千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------------|------------------|---------|--------------|----------------------------|
| | カメラデバイス 事業 | ネットワーク サービス事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 448,182 | 78,300 | 526,482 | — | 526,482 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 448,182 | 78,300 | 526,482 | — | 526,482 |
| セグメント利益 | 224,413 | 22,729 | 247,142 | △146,614 | 100,528 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,614千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,614千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。